学校番号	１０８

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	学年	１年
使用教科書	高等学校新地理Ａ（帝国書院）　新詳高等地図（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習する上で大事なポイントは、「このような、自然環境（地形・気候）であるから、人々の生活・文化に特徴がある」ことを常に思考することが大切です。
「なぜ」の部分を追及し思考していくことで、資料や図表といった統計資料を読み解く力を養成
します。

２　学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうと する。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート プリントの書き込み量、丁寧さ 観察等	定期考査 課題提出 ワークシート プレゼンテーション・発表等 観察	定期考査 課題提出 ワークシート プレゼンテーション・発表等 観察	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	章題	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球儀や地図からとらえる現代社会	地上の現象と地球上の位置	○	○		○	a:地球儀上の位置の示し方や時差の考え方を学び、時差の計算ができるようになる。 b:グローバル化により平面で認識していた世界を地球という球面で思考しなければならないことを理解している。 c:各図法の特徴と欠点を理解し、用途に応じた適切な図法を選択できるようになる。 d:国家とは何かを考える。また日本の領土問題を理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
		経度の違いと時差	○	○	○			
		球面と平面の世界	○		○	○		
		国家の領域と国境	○		○			
		日本の領域と領土問題	○		○	○		
	人間生活を取り巻く環境	さまざまに変化する大地と生活	○		○	○	a:世界の自然環境は地域的に大きく異なっていることに気づき、現在のような分布になった理由について、関心を持って学習できている。 b:世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを理解している。 c:世界の人々がもつ宗教・言語を教科書に掲載されている写真・地図を適切に使用して理解している。 d:世界の自然環境を地形と気候の面から大きくとらえ、なぜ差異が生まれるのか、人間生活にどのように影響しているのかについて理解している。	
		世界の大地形と人々の生活	○		○	○		
		山地・平野・海岸・氷河・カルスト・乾燥地形と人々の生活	○					
		生活と気候のかかわり	○	○	○			
		生活を支える世界の農業と工業	○	○		○		
		生活と宗教・言語のかかわり	○		○	○		
		生活・文化のグローバル化	○	○		○		

2学期	世界の諸地域の生活・文化	各地域・各国の生活・文化 ・中国 ・朝鮮半島 ・東南アジア ・インド ・中央アジア・西アフリカ ・北アフリカ ・サハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ		○		○	a：世界諸地域の生活環境や文化に関心をもち、それぞれの特色について意欲的に追求しようとしている。 b：世界諸地域で暮らす人々の生活や産業について、系統地理の内容などと関連付けながら、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。また、歴史的背景と関連付けて、現在の事象の原因を考察、判断している。 c：地図帳や統計資料を活用し、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりしている。 d：世界諸地域の自然環境、産業、宗教や文化など、基礎的事象の概要や起因について理解している。また、諸地域の地理的特色について、歴史的背景とともに理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
3学期	世界の諸地域の生活・文化	各地域・各国の生活・文化 ・ロシア ・アメリカ合衆国 ・ラテンアメリカ ・オーストラリア		○		○	※2学期単元評価規準と同じ	定期考査 ワークシート 観察等

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。